

AAAL 中国鄭州 2009 中国国際カーアフターマーケット博覧会ツアー

AAAL 事務局

【概要】

期間：2009年6月29日～7月3日

参加者：AAALオートアフターマーケット活性化連合 総勢13名参加

1	住野 公一	APARA 会長	株式会社 オートボックスセブン
2	鍵山 幸一郎	APARA 副会長	株式会社イエローハット
3	滝澤 政明	APARA 事務局	自動車用品小売業協会
4	田中 毅	NAPAC 会長	株式会社 ワーク
5	植草 正拓	NAPAC 事務局	日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
6	長谷川 浩之	JASMA 会長	株式会社エッチ・ケー・エス
7	西脇 保彦	JAAMA 副理事長	株式会社ボンフォーム
8	伊井 孝雄	JAAMA 副理事長	株式会社ナポレックス
9	坂井 瑞穂	SEMA 事務局	米国自動車用品工業会 AJIA SEMA JAPAN
10	田島 也寸清	総経理	オートボックスCHINA 現地対応・案内
11	谷 昭光	市場開発部長	オートボックスCHINA 現地対応・案内
12	横村 健司	副総経理	有限公司中国イエローハット 現地対応・案内
13	丁 娜	秘書	有限公司中国イエローハット 現地対応・案内

【視察内容】

中国鄭州

鄭州市は中国の「へそ」と呼ばれ、首都の北京から西へ 700 km 位の中国大陸のちょうど真ん中に位置しています。

日本人にはなじみの薄い地名ですが、昨年、日産自動車が新工場を建てた場所（自動車不況のあおりで稼働はしていませんが）であり、カンフーで有名な「少林寺」のあるところです。

内陸ですので当然海はありません、交通輸送インフラは昔からある鉄道と空の便。それに最近整備されつつある高速道を使用した陸上便です。今後も中国の流通ハブ拠点として大きな発展が見込める都市です。



2009中国国際カーアフターマーケット博覧会 開幕式に出席。日本代表 AAAL住野会長挨拶



2009グローバルカーアフターマーケットサミット（インド、ロシアからも参加）各国の自動車アフター市場の現状報告 日本はAAAL住野代表がスピーチをした。
終了後 AAAL全員で記念撮影

2009中国国際カーアフターマーケット博覧会

及び 第5回中国自動車用品（鄭州）交易会

開催日 : 2009年6月30日 - 7月2日

会場 : 中国・鄭州国際展覽センター（鄭州市鄭東新区商務内環路中央公園1号）

主催 : ・中国自動車用品連合会 CAFIF（中国自動車用品連合会）

China Auto Fitting Industry Federation

・中国自動車修理業界組合

China Auto Repair & Maintenance Industry Association

・鄭州市人民政府

特徴 : 元々は鄭州のムートン展示会がスタートであり、展示面積と来場客数が増え、今では中国国内最大規模のカー用品展示会となった。更にメンテナンス設備、パーツ、タイヤの商談会も同時開催している。会場は展示面積が20,000㎡に達し、出展ブースも2,400社を超え、来場客数は10万人以上を見込んでおり、今後は総合アフターマーケット・ショーになっていくだろう。日本企業ではカーメイトが大きなブースを設けており、オートボックスCHINAもFC募集のブースを開いていた。展示会では毎年新しいムートン製品（シートカバー）の発表会（ファッションショー）を開催し中国国内のムートン製品の流行傾向をリードしている。



CARMATE（カーメイト）ブース



第3回 A P A N (Asia Pacific Aftermarket Network) ミーティング開催

ホストである中国CAFIF（中国自動車用品連合会）の絡会長の元に中国2団体、日本AAALの7団体、アメリカ2団体、フィリピン、オーストラリア、の定例メンバーの他にロシア、香港が新たに参加した。

- ・ 今回のA P A N会議はアジアパシフィック連合の 活動目的、組織、会議体、基本ルール等の策定作業を検討した。
 - ・ A P A Nの意義、目的をはっきりとさせなければならない。
国境を越えたアフターマーケットの発展である。
 - ・ 中国、日本、アメリカ、オーストラリア、フィリピンの定例メンバーの他にロシア、香港が加わり、今後は台湾、韓国等にも呼びかける。ただしルールが必要（アフターの意味、取り方が微妙に違うため）
 - ・ A P A N活動の 目的、組織、会議体、ルール作り のまとめを行なったが、会議時間が足りず宿題事項となる。日本は「A A A L会議」でまとめ次回会議へ提出。
 - ・ 次回A P A NミーティングはSEMAショー開催中におこなう。
2009年11月4日（木）09:00～12:00 米国ラスベガス・SEMAショー会場内



鄭州視察内容

1. 自転車の変化

あれほど走っていた自転車が減り、代わりにバッテリーモーターで走る「電動自転車&電動スクーター」が増えその多さにびっくりです。日本円に換算すると、25,000円位で買えるそうです。バッテリーカーへの先駆けでしょうか！

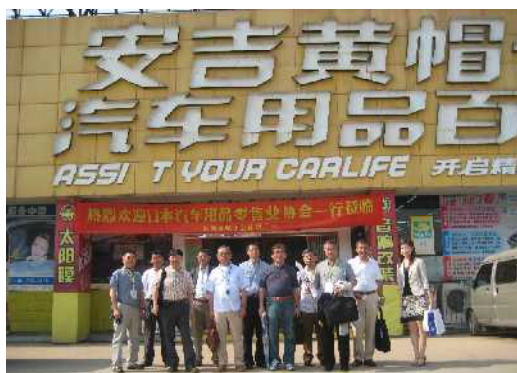


2. 車の特徴



4 ドアセダン（ハッチバックよりセダン重視）が圧倒的に多く見受けられました。色は大型セダンの場合は殆どが黒、ステータスシンボルは黒のセダンと言う公式が出来ているのでしょうか。ホテルの駐車場にはアウディ、メルセデス、BMW、BUICK、トヨタ、日産、HONDA の3Lオーバー級が並んでいます。新型のHONDA オデッセイを何台か目にしましたが、ミニバンは少ない状態です。また、SUVはようやく出回り始めたようです、HONDA の新型CRV、AUDI Q、BMW Xが目立ちました

3. 現地のカー用品店



イエローハット鄭州北環路店



オートバックス鄭州店



売れ筋商品（売上構成比 20%）のシートカバーコーナー。夏は涼しく、冬はムートン地で暖かくといったかたちで装着されるようです。

4. 北京の実情

大卒サラリーマンの月の平均給料が 5 万円（年収 60 万円）。VW ジェッタ（VW GOLF の 4 ドアセダン）の 6～8 年落ち中古が 50 万～80 万円です。この中古車を「親戚ファミリーで購入しシェア」する。これが北京の中流層の大半である。この中流層に中国メーカーの新車（大衆車）が売れ出した時に中国の自動車市場は大化けする！ 業界関係者はあと数年後と期待しているようです。



中国北京天安門前

5. 中国奇瑞汽車（チェリー）社の「QQ」

GMのコピー真似と言われるQQだが、良く出来ている。
数年後は手ごわいメーカーになるだろう。



6. 汽車城 （自動車部品用品の市場）

以前は戦後のアメ横風な汽車城であったが、オリンピック開催にともなう区画整理などで郊外に移転した「汽車城は」大型駐車場付きの部品スーパーに変わりつつある。
しかし相変わらずコピー品が多く質的評価は低い。安さのみを求める客層の店である。



以上